

対ホンジュラス共和国 事業展開計画

2018年 4月 現在

重点分野1 (中目標)	地方開発		案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	協力プログラム名	協力プログラム概要			2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度			
開発課題1-1 (小目標) 社会経済基盤強化	社会・経済開発プログラム	<p>【現状と課題】</p> <p>ホンジュラスは中南米カリブ地域の中で3番目に貧しい国(一人当たりGNIは2,250米ドル、&lt;2017年、世銀&gt;)であり、特に都市部と比較して農村部の貧困の度合いは深刻であり、このような背景の下、政府は農村部の貧困削減・地域開発のために地方分権化を推進しており、地方自治体の能力強化が求められている。生活に必要な社会経済インフラの整備及び基礎的生活能力の持続的な向上が緊急の課題となっている。また、麻薬組織の活動等により、地方開発の基盤となる治安も悪化している。</p> <p>【開発課題への対応方針】</p> <p>地方の社会・経済を活性化する観点から、社会経済インフラの整備、農業を含む産業の推進、経済安定化のための治安改善、地方自治体の能力強化を含む人材育成等の社会経済基盤の強化に資する支援を行い、深刻な貧困問題の緩和を図ることで持続的な地域開発に貢献する。</p>	コマヤグア市給水システム改善・拡張計画	無償	■	■					17.28		
			ローカルガバナンス能力強化アドバイザー	個別専門家	■	■							
			金融包摂を通じたCCT受給世帯の生活改善・生計向上プロジェクト	技プロ	■	■						5.00	
			貧困対策プログラム事業管理能力強化アドバイザー	個別専門家	■	■							
			小規模コーヒー生産者輸出競争力強化	国別研修	■	■							
			中小企業の品質・生産性向上に係るファシリテーター育成	第三国専門家									
			地上デジタル放送アドバイザー	個別専門家	■	■							
			持続的地域開発に関する課題別研修	課題別研修他	■	■							
			地方自治体能力強化を含む社会・経済開発支援分野の青年海外協力隊	JOCV	■	■							
			電化分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■						0.13	
			水分野に関する課題別研修	課題別研修他	■	■							
			地域警察活動を通じた地域活性化	第三国専門家	■	■							
			治安対策・司法に関する課題別研修	課題別研修他	■	■							
			首都テグシガルバ市南東部における青少年育成を通じた住みやすいコミュニティづくり支援事業	日本NGO	■	■						0.22百万USD	

		文化分野に関する草の根文化無償資金協力	草の根文化								0.09百万USD	
		一村一品運動広域アドバイザー	個別専門家									
		持続可能な経済開発・地域統合のための中米地域物流ロジスティクス開発マスタープラン策定プロジェクト	開発調査									
		中南米・カリブ地域次世代知日派リーダー育成プログラム	国別研修									

開発課題 1-2 (小目標) 保健医療システムの強化	【現状と課題】 各種保健指標は改善しているが、特に母子保健及びリプロダクティブ・ヘルスについては、地域によって大きな格差があるため、持続可能な開発目標（SDGs）の達成は容易ではない状況にある。また、エイズ、新型インフルエンザをはじめとする新興感染症、シャーガス病・リーシュマニア症などの「顧みられない熱帯病（NTDs）」、マラリア・狂犬病・デング熱等の再興感染症に感染するリスクも高い。現在の保健医療は、システムの統一化が不十分であり、非効率性等が課題となっている。		【開発課題への対応方針】 貧困層が大半を占める地方部において、母子保健及び予防に重点を置くプライマリーヘルスケア（PHC）の充実を中心とした、アクセスの困難な地方レベルでの保健医療サービスの質と量の拡大を進め、保健システムの強化を図る。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
		地方貧困層への裨益を念頭に、母子保健に焦点を当てた、適切な保健医療サービスの提供及びユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）への貢献を図るため、ホンジュラス保健省のPHC政策の強化に向けた取り組みを支援する。	レンピラ県及びエルバライソ県母子保健医療サービス整備計画	無償	2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	6.24	
			「国家保健モデル」に基づくプライマリーヘルスケア体制強化プロジェクト	技プロ							3.40	
			保健医療分野の青年海外協力隊	JOCV								
			栄養改善分野の草の根技術協力	草の根技協								
			保健サーベイランス国立研究所建設計画	無償							8.18	
			保健医療サービス改善に関する課題別研修	課題別研修他								
			保健医療分野の草の根・人間安全保障無償資金協力	草の根無償							0.22	
			医療保健分野のIDB日本信託基金（JPO）	マルチ							0.70百万USD	米州開発銀行（IDB/JPO）
	エル・バライソ県エル・バライソ市、アラウカ市における思春期リプロダクティブヘルス推進プロジェクト		日本NGO							0.26百万USD		

開発課題 1-3	【現状と課題】 初等教育における純就学率は95%（2014年）まで改善し、卒業率も79%（2009年-2014年）に達しているものの、初等教育完全普及には、一層の取組が求められている。また、前期中等教育（7-9年生）へのアクセスは初等教育に比べて低く、就学率が73%（2014年）にとどまっている。また、生徒数の増加、教員の不足、不十分な教育カリキュラム、教材の質の低下等に対応する教育環境の整備が必要であり、基礎教育の充実が重要な課題となっている。		【開発課題への対応方針】 「平和と成長のための学びの戦略」に基づき、基礎教育の充実を図る観点から、ホンジュラス政府の「新教育セクター計画（2018-2030）」も踏まえ、算数・数学科におけるこれまでの我が国支援の成果の普及や授業の改善、教育施設の整備など、我が国の知見や経験に基づいた基礎教育の構築と教育水準向上に資する支援を行うことで、SDGsの達成を支援し、産業分野などの人材育成に貢献する。また、男女に平等な教育の機会を提供するよう留意する。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
		主に地方において基礎教育を受けるための学校インフラを整備する。また、	数学指導力向上プロジェクトフェーズ3	技プロ	2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		



		環境保全分野の青年海外協力隊派遣	JOCV						
--	--	------------------	------	--	--	--	--	--	--

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝青年海外協力隊)、「SV」(＝シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(＝水産無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融资)、「情報収集調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(＝中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「——」(＝実施期間)、破線「- - -」(＝実施予定期間)